

# 国指定文化財を守る思い 大磯左義長保存会

会長 一 梶木 政義

漁師をしていた祖父や父親が手伝っていたこともあり、左義長は幼いころから見ていた身近な行事。父親が亡くなつてから本格的に関わるようになり、早30年を迎えました。若い頃はほとんど手伝うこともなくオンベや門松を海へ運ぶ人たちを見て、朝早くから大変だなあ〜なんて思っていました。が、今では担い手の一人となつています。

大磯の左義長は、一般的なダンゴ焼きとは違い、南下町の一部で行われている「一番息子」(12月)や、北下町の「オカリコ」、そして左義長当日の火入れ後に「ヤンナゴッコ」が行われることが特徴です。「ヤンナゴッコ」は全ての道祖神で行われている訳ではありませんが、禪姿の男たちがソリを引き、海に入り陸側と縄引きを行い悪霊退治し、豊漁を願います。裸衆は魚、陸側は漁師で必ず陸側が勝つと聞いています。

左義長は、担い手の高齢化による人手不足や地区での子どもの減少など、様々な課題があります。SNSなどにより、多くの人達に左義長応援団として作業してもらえるように呼びかけをしています。

保存会だけではなく、「左義長応援団」や町などの行政機関と協力し、左義長を継続していきたいと思つています。

皆さんも左義長に参加してみませんか。

## 北浜海岸 サイト位置図



## 左義長応援団

少子高齢社会により、大磯の左義長の担い手が固定・高齢化し、地域の財産である「伝統文化や技や知恵の継承」が危機を迎つつあります。

左義長応援団は祭に参加していただけるボランティアさんを大募集しています！  
応援団という名称にこめた、人と人との縁に伝えるという意味で、縁、の輪に参加していただければ幸いです。

募集内容などは二次元コードからFacebookやホームページをご参照ください。

問 東光院 ☎ (63) 0099



Facebookはこちら！



ホームページはこちら！



左義長  
応援団

## 国指定重要無形民俗文化財 「大磯の左義長」を開催します

「大磯の左義長」は、大磯の9地区(坂下・浜之町・大泊・子の神・中宿・浅間町・大北・長者町・山王町)で毎



年1月14日の前後に行われる道祖神(セエノカミ)の火祭りです。  
ドンドヤキとも呼ばれるこの行事は、日本全国でも行われていますが、「大磯の左義長」は、とりわけ壮大な規模をもつ代表的な行事です。また、一番息子やナナトコマイリの行事、豊漁を祈願する予祝儀礼であるヤンナゴッコが行われるなど、様々な行事を包含していることから、その民俗性を高く評価され、平成9年に国指定無形民俗文化財に指定されました。

左義長までの3日間、子どもたちはお飯屋にこもり、遊んだりしながら過ごします。当日は北浜海岸に9地区のサイトが立ち、夕方、その年の恵方から点火されます。集まった人々は、団子をサイトの火であぶつて食べ、一年の無病息災を願います。

▼とき 1月14日(日)

火入れ 18時30分

▼ところ 北浜海岸

問 生涯学習課 ☎ 内線323